

キャラクター名
想咲 沙依

プレイヤー名

シンドローム	バロール ノイマン	ワークス	UGNエージェントA	カヴァー	学生
オプション		年齢	17	性別	女
覚醒	感染	衝動	吸血	初期侵食率	31%
出自	寂しい我が家	経験	愛しい思い出	邂逅	色付く世界

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	27
肉体	0	1	0			1	行動値	7
感覚	1	0	0			1	(非装備時)	7
精神	5	0	0			5	戦闘移動	12
社会	2	0	0			2	全力移動	24

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	1		射撃			RC	1		交渉		
回避	1		知覚			意志			調達	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:	UGN	1
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
-オート[120%]-		0				
《愛は理を超え尚強く-アホくオト-ガ-マカ-》		0				ゼログラビティ[1]
		0				
-Xジャ-		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
誕生日プレゼントのキルガー	
応急手当キット	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
想い人 <オリーユ>	P	N		
木龍 翼	P 純愛	N 偏愛		
白	P 慈愛	N 恐怖		
灰巻 恭介	P 同情	N 無関心		
佐々木 小次郎 (無敵の敗者)	P 有為	N 無関心		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 6 残り財産P: 1

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
ゼログラビティ	1	6	オート	視界	単体	自動	120%	
効果: 『対象の回避orガード宣言時』[回避強制失敗][ガード値でのダメージ軽減不可]【1シリオ1回】								
黒の鉄槌	3	1	Xジャ-	視界	-	対決	-	
効果: [攻撃力+[Lv×2+2]] [同Iカ-ジ 攻撃不可]								
暗黒の槍	3	3	Xジャ-	-	-	対決	-	
効果: [装甲無視]【HP5消費】【1シリオLv回】								
終末の槍	3	5	Xジャ-	-	-	対決	リセット	
効果: 『前提《暗黒の槍》』『《暗黒の槍》と組み合わせて使用』[ダメージ+(Lv)D]【HP4点喪失】								
因果歪曲	2	3	Xジャ-	-	範囲(選択)	-	-	
効果: [対象:範囲(選択)に変更]【1シリオLv回】								
スキルフォーカス	3	2	Xジャ-	-	-	-	-	
効果: 『選択<RC>』[達成値+[Lv×2]]								
コンセントレイト	3	2	Xジャ-	-	-	-	-	
効果: 『指定/バロール』[クリティカル-Lv]								
	★							
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

リザレクト
想咲 沙依

「想いを咲かせ、それを選び分け愛に依る_____それが私の生きる道」

『木龍 翼』の幼馴染(クランク未申請)で彼に真っ直ぐな愛をぶつける一途な女の子。
基本的に木龍 翼の行く先々何処にでも着いて回る。
その異様さから一時期話題にはなったが暫くして日常の一部として扱われる様になり、
周囲からはセッ扱いされている。
本当おはようからおやすみまでずっと木龍 翼に着いて回りたいが、嫌われたくないので致命的な一線は基本避けている。

しかし、ある時期を境にその生活に綻びが生まれる。
翼が事あるごとに沙依を撒いてどこかへ消えるようになったのだ。
若干の不信感と激しい不安から木龍 翼を追跡してしまい、行った先でジャ-ムとの戦闘を偶然目撃。

突然の事に固まってしまった沙依だが、目の前で翼負傷の瞬間を目撃してしまい激昂。
その頃にはとある事情で感染していた為、溢れ出る自身の力でジャ-ムを粉砕。
後に保護され翼と一緒に居る事を条件にUGNエージェントとして活動する事となる。

彼女の感染源は木龍 翼の『血液』
翼が不注意で怪我をした際に"治療"と称しそれを舐め取り、奇跡的に感染と覚醒を果たす。
よく分からなかったが、なんとなくで使えたので隠れて便利に使っていた。